

## 令和6年度第77回卒業証書授与式



「意味ないことの積み重ね」  
に  
「意義」はある。

卒業証書授与

令和7年3月3日（月）、第77回卒業証書授与式が挙行政され、第3学年生徒299名（普通科270名、総合ビジネス科29名）が本校より卒業しました。当日は来賓、卒業生の保護者生徒、在校生合わせて1000名以上の方がその様子を見守ってくださいました。卒業生答辞では、卒業生代表生徒が切々と思いの丈を述べました。3年間の思い出を語る中で、『意味の分からないことに続けて取り組むことに意味がある』という恩師の言葉を引用しながら、自身がこの場に立ち、卒業していくことの重さをかみしめている様子でした。

卒業生代表答辞

生演奏による「Yell」披露

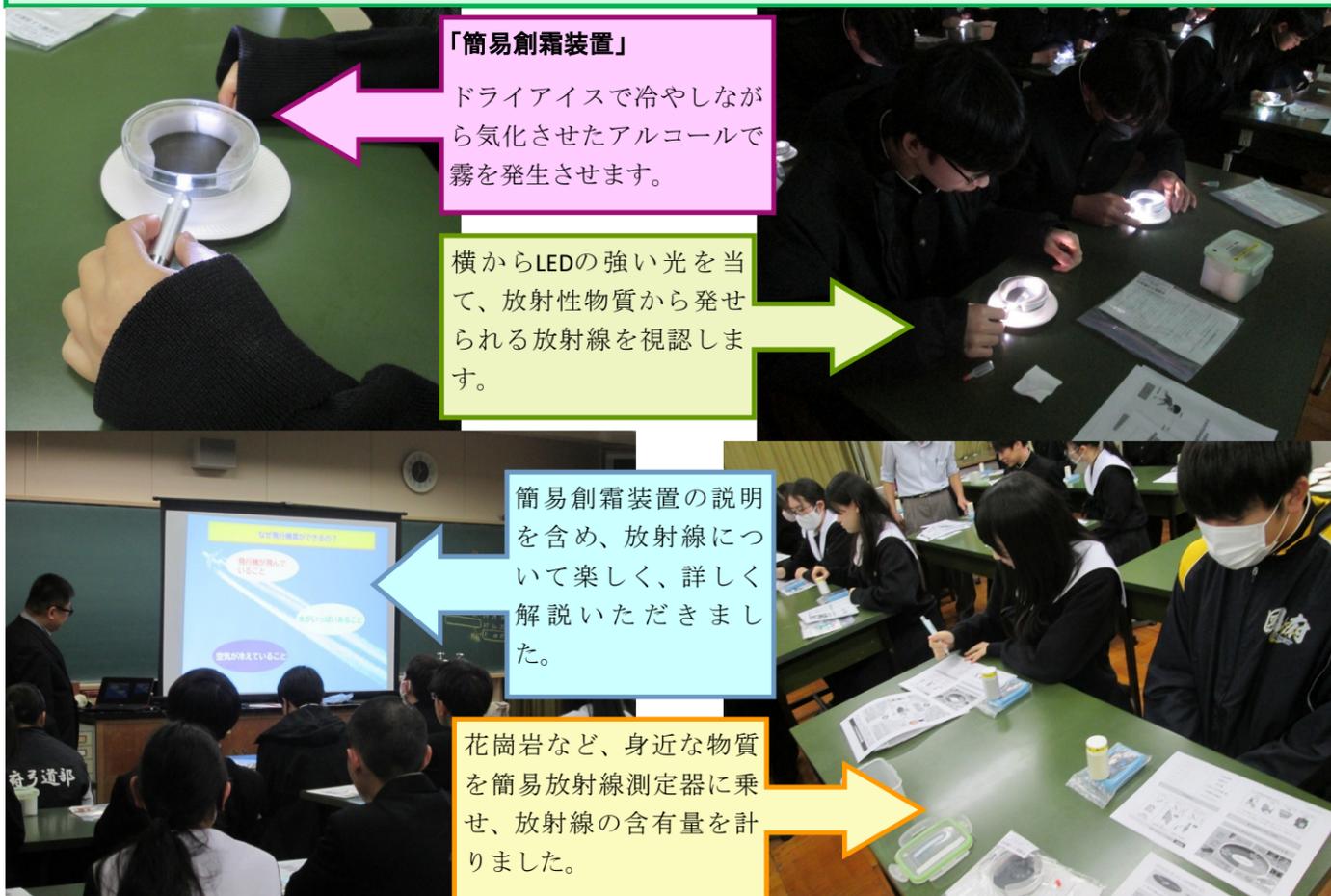


卒業式前日の2月28日（金）には、「卒業生を送る会」が開催され、卒業生の3年間の歩みを映像化したものや転勤された先生方のメッセージなどが上映されました。会の最後には先生方のバンド演奏がサプライズ披露されました。

在校生代表送辞

## 物理基礎出張授業「放射線」

令和7年3月6日（木）、7日（月）にわたり、物理基礎の出張授業が展開されました。今回は日本科学技術振興財団や中部原子力懇談会の方を講師としてお招きし、実験をしながら放射線について学びました。当日は簡易創霧装置による放射線の飛跡の観察や簡易放射線測定器を用いた放射線測定など行いました。身近にありながらもまだまだわからないことの多い放射線について学んだ1時間でした。



「簡易創霧装置」  
ドライアイスで冷やしながら  
気化したアルコールで  
霧を発生させます。

横からLEDの強い光を当て、  
放射性物質から発せられる  
放射線を視認します。

簡易創霧装置の説明を含め、  
放射線について楽しく、詳しく  
解説いただきました。

花崗岩など、身近な物質を  
簡易放射線測定器に乗せ、  
放射線の含有量を計りました。

## 弁論大会



令和7年3月6日（木）、7日（金）に、1・2年生の弁論大会が開催されました。各クラス代表者が現代の諸問題から趣味の話題に至るまで、個性豊かな発表を行いました。

